

Topic 8 児童・保護者へSOSの出し方講座を開催



11月2日、中央大学客員研究員の高橋聡美さんを講師に招いて、若年層の自殺対策として「SOSの出し方講座」が枕崎小学校で開催され、同校の6年生の児童が参加しました。

講義では、グループで他人の良い所を紹介する他己紹介が行われ、児童はお互いの自尊感情を高める大切さを学びました。講師の高橋さんは「誰かに助けを求め強さを持つてほしい」と話しました。

その後、保護者を対象にした講座も開催され、子どものSOSを大人が見逃さないことの大切さなどについて話がありました。

Topic 9 枕崎高校で青春講演会を開催



11月2日、枕崎高校同窓会主催による青春講演会が同校の体育館で開催され、全校生徒と同窓会関係者が参加しました。

今回の公演では、芸能プロダクション事務所の株式会社アルテミスジャパン代表取締役社長の乙守三千代さんを講師に招いて、薩摩文化と芸能教育をコラボレーションした「郷中エンターテインメント」について講話がありました。生徒たちは、身だしなみや姿勢、声のトーンなど、進学・就職してから役立つマナーなどを学びました。

Topic 10 栄養士・調理師等養成施設にかつお節等を提供



10月28日、枕崎水産加工業協同組合、枕崎市漁業協同組合、枕崎市で構成するさつま鯉節協会による栄養士・調理師等養成施設へのかつお節等提供事業が行われました。

将来、栄養士や調理師を目指す学生に、枕崎鯉節等の良さを知ってもらうため、県内8校9科の栄養士・調理師等養成施設に本枯節や枕崎ぶえん鯉、鯉たたきを提供しました。

Topic 5 片平山配水池更新事業の安全祈願祭を実施



10月19日、片平山配水池更新事業の安全祈願祭が片平山の工事現場で開催され、関係者約30名が参加しました。

片平山配水池更新事業は、令和2年5月から令和4年10月までの期間で更新工事が実施され、新たにステンレス製の配水池が設置され、耐震性が高まり、衛生的により優れたものに更新されます。また、配水池の有効高さが今までより約10m上がることで、各家庭や工場の水圧が上がるのが期待されます。

Topic 6 市内の優良従業員を表彰～優良従業員表彰式



市内の事業所から推薦のあった従業員を表彰する優良従業員表彰式が11月17日に枕崎商工会議所で開催されました。

揚野俊清会頭から2名の日本商工会議所会頭表彰伝達が行われた後、今回は鹿児島県商工会議所連合会長表彰として8名、枕崎市長表彰として4名、優良従業員表彰として13名、永年勤続表彰として22名の合計47名が表彰されました。

また今年度は、春日鉱山株式会社代表取締役社長の品川賢治さんが枕崎大使として新たに委嘱されました。

Topic 7 精神障害について理解・啓発を図る



精神障害についての理解・啓発を図ろうと枕崎市地域自立支援協議会と加世田保健所が共同で、桜山小学校6年生の20名の児童を対象に授業を行いました。

講師を務めた加世田保健所の職員や市職員から精神障害の種類や特徴、本市の現状などについて説明があり、「みんなが住みやすい町づくりのために積極的にサポートしてほしい」と呼びかけました。

児童からは、「精神障害にはいろいろな症状があることを知った」「自分にできることをしていきたい」といった感想がありました。

Topic 3 いざという時のため、別府小学校で給水訓練を実施



11月4日、別府小学校の4年生の児童を対象に給水訓練が実施され、枕崎市水道工事業協会の関係者が別府小学校に集まりました。

訓練では、実際に発生した8・6水害や熊本地震災害を例に、災害発生時の応急的な給水活動の状況や建設業関係者との連携体制について話がありました。また、震度5を超える大規模な地震により断水が発生したと想定して、自分たちで給水袋を作成し、水を給水する訓練が行われました。

Topic 4 台湾観光関係者とアフターコロナを踏まえた意見交換会を開催



11月16日、駐福岡台湾総領事館の陳忠正総領事をはじめとする台湾観光関係者が本市を訪れ、前田市長や市内関係機関の代表者とアフターコロナを踏まえた観光についての意見交換会が枕崎お魚センターで開催されました。

意見交換会では、クルーズ船の誘致や観光客がもたらす経済効果、コロナ後の観光面の回復方法などについての意見が出されました。

意見交換会后、陳総領事は本市名物のわら焼きたき作りを体験し、枕崎の鯉を味わいながらランチミーティングでさらなる意見交換を行いました。



▲わら焼きたき体験の様子

Topic 1 鹿児島県建設業協会加世田支部が避難所用パーティションを寄贈



11月2日、鹿児島県建設業協会加世田支部から本市へ避難所用パーティション「KAMIKABE」が10セット寄贈され、長野義哉副支部長から目録が贈呈されました。

今回寄贈されたパーティションは、コロナ禍での避難所の3密を回避するために開発されたもので、今後、災害発生時の避難所運営で活用される予定です。

長野副支部長は「避難所のプライバシーが守られ、良い環境で過ごしてほしい」と話しました。



▲寄贈された「KAMIKABE」

Topic 2 学校給食への理解・関心を深めるため給食試食会を実施



一般の市民の皆さんに学校給食への理解と関心を深めてもらおうと、学校給食試食会が11月4日に給食センターで開催され、事前に参加希望のあった10名の市民の皆さんが参加しました。

参加者は、給食センター内の調理室を見学した後、DVDで給食センターの1日の作業工程や安全管理に関する理解を深めました。その後、実際にその日に学校で提供された枕崎産のご飯、コンカツすまし汁、枕崎牛のサイコロステーキなどの給食を味わいました。



▲実際に試食した学校給食